

第 72 回国民体育大会冬季大会（長野県）
競技別実施要項の変更について

【スケート競技（一部抜粋）】

現 行	<p>4 競技上の規程及び競技方法</p> <p>(3) フィギュア</p> <p>キ 滑走時間</p> <p>(ア) ショートプログラム滑走時間は、2分 50 秒以内とする。</p> <p>(イ) フリースケーティング滑走時間は、成年男子 4分 30 秒、成年女子 4分、少年男子 4分、少年女子 3分 30 秒とする。</p>
修 正 案	<p>4 競技上の規程及び競技方法</p> <p>(3) フィギュア</p> <p>キ 滑走時間</p> <p>(ア) ショートプログラム滑走時間は、2分 40 秒プラス/マイナス 10 秒とする。</p> <p>(イ) フリースケーティング滑走時間は、成年男子 4分 30 秒プラス/マイナス 10 秒、成年女子 4分 プラス/マイナス 10 秒、少年男子 4分 プラス/マイナス 10 秒、少年女子 3分 30 秒 プラス/マイナス 10 秒とする。</p>

**第 72 回国民体育大会冬季大会（長野県）
実施要項の変更について**

【共通（スケート、アイスホッケー、スキー）】※一部抜粋

現 行	<p>大会参加負担金</p> <p>(1) 大会に選手団を派遣する都道府県体育（スポーツ）協会は、1人当たり次のとおり参加負担金を納入するものとする。（視察員を除く）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">参加負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少年の種別に参加する選手</td> <td style="text-align: center;">未定</td> </tr> <tr> <td>上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)</td> <td style="text-align: center;">未定</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	参加負担金	少年の種別に参加する選手	未定	上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	未定
区 分	参加負担金						
少年の種別に参加する選手	未定						
上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	未定						
修 正 案	<p>大会参加負担金</p> <p>(1) 大会に選手団を派遣する都道府県体育（スポーツ）協会は、1人当たり次のとおり参加負担金を納入するものとする。（視察員を除く）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">参加負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少年の種別に参加する選手</td> <td style="text-align: center;">1,500 円</td> </tr> <tr> <td>上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)</td> <td style="text-align: center;">2,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	参加負担金	少年の種別に参加する選手	1,500 円	上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	2,000 円
区 分	参加負担金						
少年の種別に参加する選手	1,500 円						
上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	2,000 円						

【スケート】※一部抜粋

現 行	<p>4 競技上の規程及び競技方法</p> <p>(3) フィギュア</p> <p>キ 滑走時間</p> <p>(ア) ショートプログラム滑走時間は、2分50秒以内とする。</p> <p>(イ) フリースケーティング滑走時間は、成年男子4分30秒、成年女子4分、少年男子4分、少年女子3分30秒とする。</p>
修 正 案	<p>4 競技上の規程及び競技方法</p> <p>(3) フィギュア</p> <p>キ 滑走時間</p> <p>(ア) ショートプログラム滑走時間は、2分 40秒プラス/マイナス10秒 とする。</p> <p>(イ) フリースケーティング滑走時間は、成年男子4分30秒 プラス/マイナス10秒、成年女子4分 プラス/マイナス10秒、少年男子4分 プラス/マイナス10秒、少年女子3分30秒 プラス/マイナス10秒 とする。</p>

第72回国民体育大会冬季大会における
予選会免除対象大会一覧

平成28年8月25日

- ◆ 第8回アジア冬季競技大会(2017年／日本・札幌)

【免除対象競技】 スキー

- ◆ 第28回ユニバーシアード冬季競技大会(2017年／カザフスタン・アルマティ)

【免除対象競技】 スキー

- ◆ 各中央競技団体が指定する世界選手権大会等の国際大会

競技名	大会名
スキー	ジュニア世界選手権大会 (アルペン・クロスカントリー・ジャンプ・ノルディックコンバインド)
	世界選手権大会 (アルペン・クロスカントリー・ジャンプ・ノルディックコンバインド)
	ワールドカップ・コンチネンタルカップ (アルペン・クロスカントリー・ジャンプ・ノルディックコンバインド)

第 72 回国民体育大会冬季大会 中央競技役員数及び同所要経費基準

1 中央競技役員数

競 技 区 分	人 数
1 スケート競技会	44
2 アイスホッケー競技会	26
3 スキー競技会	29
計	99

2 所要経費支給基準

(1) 交通費

ア 運賃は、各競技役員の居住地最寄駅から、会場地最寄駅間を原則とし、経済的かつ合理的な通常の経路及び方法により算出する。

イ 急行・特急料金及び航空運賃は、一般職の職員の旅費に関する条例（昭和 29 年長野県条例第 45 号）の例による。

(2) 宿泊費及び諸費

区 分	支 給 額
宿泊費 (1泊2食)	第 72 回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会及びスキー競技会宿泊要項に定める料金 × 宿泊日数 (競技役員業務従事日数 + 1日)
諸 費	2,200 円 × (宿泊日数 + 1日)

(注) 1 支給期間は、競技日数に 1 日を加えた日数を上限とする。

2 開始式日は、競技日数に含める。

3 入湯税対象施設に宿泊した場合には、別途入湯税を加算する。

第 72 回国民体育大会冬季大会（長野県） 参加章の意匠

1 デザイン

【表】



【裏】



2 規格

大きさ：直径 35mm

厚 さ：1.5mm

材 質：真ちゅう製

3 説明

ながの銀嶺国体のシンボルマークを背景に、マスコットキャラクターの「アルクマ」が大会に参加するすべての人を歓迎する姿を描いています。

第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会（長野県）における
イベント事業

平成28年8月25日

実施内容	実施日時	実施会場	参加者
フリースタイル・ モーグル種目エキシビジョン	平成29年 2月7日(火)	白馬村 白馬五竜スキー場	長野県内選手他 120名
スノーボード・ ハーフパイプ種目エキシビジョン	平成29年 2月17日(金) ～18日(土)	山ノ内町 X-JAM高井富士	長野県内選手他 100名

第 72 回国民体育大会（愛媛県） 実施要項総則

～省略～

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」(TUE)の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が未成年者（20歳未満）の場合、本人の署名及び親権者の署名、捺印がある同意書を所持すること。

～省略～

第 72 回国民体育大会（愛媛県）
実施要項総則 新旧対応表

変 更 前	変 更 後
<p>4 ドーピング検査の実施</p> <p>大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。</p> <p>なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。</p> <p>各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が未成年者（20 歳未満）の場合、親権者及び本人が署名、捺印した同意書を所持すること。</p>	<p>4 ドーピング検査の実施</p> <p>大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。</p> <p>なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。</p> <p>各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が未成年者（20 歳未満）の場合、本人の署名及び親権者の署名、捺印がある同意書を所持すること。</p>

第72回国民体育大会 医療救護要項（変更版）

1 趣旨

この要項は、第72回国民体育大会（以下「大会」という。）医事・衛生基本計画に基づき、大会における医療救護に万全を期するため、必要な事項を定めるものとする。

2 実施方法

第72回国民体育大会愛媛県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）並びに会場地市町準備（実行）委員会及び市町（以下「会場地委員会等」という。）は、相互に連絡調整を図り、医療機関、関係団体等の協力を得て、医療救護を実施する。

3 実施業務及び分担

県委員会及び会場地委員会等が行う業務は、次のとおりとする。

(1) 県委員会

ア 総合開・閉会式会場における医療救護

イ 県委員会主催の大会旗・炬火リレーにおける医療救護

(2) 会場地委員会等

ア 競技会場、練習会場における医療救護

イ 会場地委員会等主催の大会旗・炬火リレーにおける医療救護

ウ 宿舎等における医療救護

4 救護本部及び救護班の設置

(1) 県委員会及び会場地委員会等は、前項の業務を実施するにあたり、必要に応じて救護本部及び救護班を設置する。

(2) 救護班は、医師、歯科医師、看護師又は保健師、アスレティックトレーナー等により、必要に応じた編成とする。

(3) 救護班は、傷病者に応急処置を行い、必要に応じて医療機関に搬送する。

5 救護所の設置

救護班の業務を実施するにあたり、救護所を設置する。

6 医薬品及び救急自動車等の配備

(1) 救護所には、必要に応じて医薬品、医療器具、AED（自動体外式除細動器）、その他必要物品等を配備する。

(2) ドーピング禁止物質を含有する医薬品は配備しない。

(3) 救急自動車等の配備については、別途関係機関と協議して定める。

7 経費の分担

県委員会及び会場地委員会等は、それぞれ担当する医療救護の実施に要する経費を負担する。

8 医療費

救護所及び救急自動車等において要した経費を除き、医療費はすべて受診者が負担する。

9 その他

この要項に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、県委員会及び会場地委員会等が、それぞれ別に定めるものとする。

第72回国民体育大会 医療救護要項 新旧対応表

変 更 前	変 更 後
<p>1 趣旨 この要項は、第72回国民体育大会（以下「大会」という。）医事・衛生基本計画に基づき、大会における医療救護に万全を期するため、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>2 実施方法 第72回国民体育大会愛媛県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）並びに会場地市町準備（実行）委員会及び市町（以下「会場地委員会等」という。）は、相互に連絡調整を図り、医療機関、関係団体等の協力を得て、医療救護を実施する。</p> <p>3 実施業務及び分担 県委員会及び会場地委員会等が行う業務は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 県委員会 ア 総合開・閉会式会場における医療救護 イ 県委員会主催の大会旗・炬火リレーにおける医療救護</p> <p>(2) 会場地委員会等 ア 競技会場、練習会場における医療救護 イ 会場地委員会等主催の大会旗・炬火リレーにおける医療救護 ウ 宿舍等における医療救護</p> <p>4 救護本部及び救護班の設置</p> <p>(1) 県委員会及び会場地委員会等は、前項の業務を実施するにあたり、必要に応じて救護本部及び救護班を設置する。</p> <p>(2) 救護班は、医師及び看護師（保健師）等により、必要に応じた編成とする。</p> <p>(3) 救護班は、傷病者に応急処置を行い、必要に応じて医療機関に搬送する。</p>	<p>1 趣旨 この要項は、第72回国民体育大会（以下「大会」という。）医事・衛生基本計画に基づき、大会における医療救護に万全を期するため、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>2 実施方法 第72回国民体育大会愛媛県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）並びに会場地市町準備（実行）委員会及び市町（以下「会場地委員会等」という。）は、相互に連絡調整を図り、医療機関、関係団体等の協力を得て、医療救護を実施する。</p> <p>3 実施業務及び分担 県委員会及び会場地委員会等が行う業務は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 県委員会 ア 総合開・閉会式会場における医療救護 イ 県委員会主催の大会旗・炬火リレーにおける医療救護</p> <p>(2) 会場地委員会等 ア 競技会場、練習会場における医療救護 イ 会場地委員会等主催の大会旗・炬火リレーにおける医療救護 ウ 宿舍等における医療救護</p> <p>4 救護本部及び救護班の設置</p> <p>(1) 県委員会及び会場地委員会等は、前項の業務を実施するにあたり、必要に応じて救護本部及び救護班を設置する。</p> <p>(2) 救護班は、医師、歯科医師、看護師又は保健師、アスレティックトレーナー等により、必要に応じた編成とする。</p> <p>(3) 救護班は、傷病者に応急処置を行い、必要に応じて医療機関に搬送する。</p>

修正後(案)	修正前
<p>5 救護所の設置 救護班の業務を実施するにあたり、救護所を設置する。</p> <p>6 医薬品及び救急自動車等の配備 (1) 救護所には、必要に応じて医薬品、医療器具、AED（自動体外式除細動器）、その他必要物品等を配備する。 (2) ドーピング禁止物質を含有する医薬品は配備しない。 (3) 救急自動車等の配備については、別途関係機関と協議して定める。</p> <p>7 経費の分担 県委員会及び会場地委員会等は、それぞれ担当する医療救護の実施に要する経費を負担する。</p> <p>8 医療費 救護所及び救急自動車等において要した経費を除き、医療費はすべて受診者が負担する。</p> <p>9 その他 この要項に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、県委員会及び会場地委員会等が、それぞれ別に定めるものとする。</p>	<p>5 救護所の設置 救護班の業務を実施するにあたり、救護所を設置する。</p> <p>6 医薬品及び救急自動車等の配備 (1) 救護所には、必要に応じて医薬品、医療器具、AED（自動体外式除細動器）、その他必要物品等を配備する。 (2) ドーピング禁止物質を含有する医薬品は配備しない。 (3) 救急自動車等の配備については、別途関係機関と協議して定める。</p> <p>7 経費の分担 県委員会及び会場地委員会等は、それぞれ担当する医療救護の実施に要する経費を負担する。</p> <p>8 医療費 救護所及び救急自動車等において要した経費を除き、医療費はすべて受診者が負担する。</p> <p>9 その他 この要項に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、県委員会及び会場地委員会等が、それぞれ別に定めるものとする。</p>

第72回国民体育大会(愛媛県)実施競技一覧(一部抜粋)

4 デモンストレーションスポーツ

平成28年8月25日現在

競技名	会場地	競技会場	備考
アームレスリング	いまばりし 今治市	吉海学習交流館	
インディアカ	とべちよう 砥部町	陶街道ゆとり公園体育館	
カーリング	まつやまし 松山市	イヨテツスポーツセンター	
カヌーツーリング駅伝	おおずし 大洲市	肱川カヌーコース	
カローリング	やわたはまし 八幡浜市	八幡浜市民スポーツセンター	
	にいほまし 新居浜市	新居浜市民体育館	
近代3種	まつのちよう 松野町	松野西小学校	
クライミング	さいじようし 西条市	西条西部公園	
グラウンド・ゴルフ	くまこうげんちよう 久万高原町	笛ヶ滝公園多目的広場	
ゲートボール	まつのちよう 松野町	松野中学校	
3B体操	まつやまし 松山市	北条スポーツセンター体育館	
スポーツチャンバラ	まつやまし 松山市	愛媛県武道館	
スポーツ吹矢	とべちよう 砥部町	陶街道ゆとり公園体育館	
ターゲット・バードゴルフ	いかたちよう 伊方町	伊方町民グラウンド	
ダーツ	まつやまし 松山市	松山市総合コミュニティセンター	
ダブルダッチ	いまばりし 今治市	波方公園体育館	会場地市の変更
	うわじまし 宇和島市	宇和島市総合体育館	
ディスコン	まつやまし 松山市	松山市総合コミュニティセンター	
日本拳法	いまばりし 今治市	今治市営中央体育館	
パラグライディング	うちごちよう 内子町	神南山フライトエリア	
パウンドテニス	にいほまし 新居浜市	新居浜市山根総合体育館	
ビリヤード	まつやまし 松山市	プールハウスBB-ONE	
ブラインドテニス	まつやまし 松山市	愛媛県身体障害者福祉センター	
ペタンク	まつやまし 松山市	愛媛県職員運動場	
マリンスポーツ	あいなんちよう 愛南町	御荘湾	
合気道	いまばりし 今治市	今治市営中央体育館	
エアロビック	しこくちゆうお 四国中央市	伊予三島運動公園体育館	
ノルディック・ウォーク	せいよし 西予市	西予市乙亥の里乙亥会館発着コース	会場変更
ウォーキング	かみじまちよう 上島町	ゆめしま海道コース	
トランポリン	きほくちよう 鬼北町	鬼北総合公園体育館	
28競技	17市町	27会場	

第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会（新潟県）
大会愛称・キャッチコピー・マスコットキャラクター

【大会愛称】

にいがた妙高はね馬国体

（趣旨）

「はね馬」とは、雪解け頃に妙高外輪山の中腹に岩肌と積雪が織り成す雪形模様で、前脚を上げて駆け出そうとする勇ましい姿が、にいがた妙高の地で開催される国体の躍動感と力強さを表現しています。

【キャッチコピー】

「銀世界 跳ねて 駆けて かがやいて」

（趣旨）

にいがた妙高の銀世界の中を、飛び跳ね、駆け抜ける選手たちが、全力を出し切って、輝いてほしいという願いを込めています。

【マスコットキャラクター】



レルヒさん

2010年の新潟県観光キャンペーン「日本スキー発祥100周年」のメインキャラクターとして誕生し、その後も、県内外で様々な観光PR等に活用され、県民のみならず、全国でも認知度が高くなっています。

新潟県の観光や物産、おもてなしの心を全国に発信し、第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会「にいがた妙高はね馬国体」を大いに盛り上げていきます。

第73回国民体育大会(福井県) 実施競技一覧

平成28年8月25日現在

1 正式競技

競技名		種別	会場地	競技会場	備考
総合開・閉会式		—	福井市	福井県営陸上競技場	
陸上競技		全種別	福井市	福井県営陸上競技場	
水泳	競泳	全種別	敦賀市	敦賀市総合運動公園プール	
	水球	少年男子			
	飛込	全種別	石川県金沢市	金沢プール	名称変更
	シンクロナイズドスイミング	少年女子			
	オープンウォータースイミング	男女	若狭町	食見海岸特設会場	
サッカー		全種別	坂井市	テクノポート福井総合公園スタジアム、芝生広場 三国運動公園陸上競技場、多目的競技場 丸岡スポーツランドサッカー場、人工芝グラウンド	
テニス		成年男女 少年男女	福井市	福井市わかばテニスコート 福井県営テニス場	
ボート		全種別	美浜町	福井県立久々子湖漕艇場	
ホッケー		全種別	越前町	福井県立ホッケー場 越前町富朝日総合運動場	
ボクシング		全種別	福井市	福井県産業会館	
バレーボール	6人制	成年男子	あわら市	あわら市農業者トレーニングセンター	
		成年女子		トリムパークかなづ体育館	
		少年男子	坂井市	丸岡体育館	
		少年女子		三国体育館	
	ビーチバレーボール	男女	小浜市	若狭鯉川シーサイドパーク特設会場	
体操		競技 新体操	鯖江市	サンドーム福井	
バスケットボール		成年女子 少年男子 成年男子 少年女子	福井市 永平寺町	福井県営体育館 福井市体育館 永平寺緑の村ふれあいセンターアリーナ 松岡中学校体育館	
レスリング		全種別	おおい町	おおい町総合運動公園体育館	
セーリング		全種別	高浜町	若狭和田マリーナ特設セーリング会場	
ウエイトリフティング		全種別	小浜市	小浜市民体育館	
ハンドボール		成年男子 少年男子 成年女子 少年女子	福井市 永平寺町	福井県営体育館 福井市体育館 永平寺緑の村ふれあいセンターアリーナ 北陸電力福井体育館フレア	
自転車	トラック・レース	全種別	福井市	福井競輪場	
	ロード・レース	全種別	大野市	大野市特設ロードレースコース	
ソフトテニス		成年男女 少年女子 少年男女	越前市 福井市	武生中央公園庭球場 福井市わかばテニスコート	
卓球		全種別	敦賀市	敦賀市総合運動公園体育館	
軟式野球		成年男子	敦賀市	敦賀市総合運動公園野球場	
			小浜市	小浜市営野球場	
			越前市	丹南総合公園野球場	
			南越前町	桜橋総合運動公園野球場	
			美浜町	美浜町総合運動公園野球場	
			おおい町	おおい町総合運動公園野球場	
相撲		全種別	大野市	大野市エキサイト広場総合体育施設体育館	
馬術		全種別	静岡県御殿場市	御殿場市馬術・スポーツセンター	

競技名		種別	会場地	競技会場	備考
フェンシング		全種別	えちぜんし 越前市	武生中央公園体育館	
柔道		全種別	ふくいし 福井市	福井県立武道館	
ソフトボール		成年男子	えちぜんし 越前市	武生東運動公園ソフトボール場	
		成年女子	えいへいじちよう 永平寺町	松岡総合運動公園 you me パーク	
		少年男子	ふくいし 福井市	福井市きららパーク多目的グラウンド	
		少年女子	つるがし 敦賀市	敦賀市きらめきスタジアム	
バドミントン		全種別	かつやまし 勝山市	勝山市体育館「ジオアリーナ」	名称変更
弓道	近的	全種別	つるがし 敦賀市	敦賀市総合運動公園弓道場	
	遠的			敦賀市総合運動公園陸上競技場特設遠的弓道場	
ライフル射撃	50m	全種別	ふくいし 福井市	福井県立ライフル射撃場	
	10m・AP			福井県立足羽高等学校体育館	
	BR・BP			福井県警察学校射撃場	
	CP	成年男子			
剣道		全種別	ふくいし 福井市	福井県立武道館	
ラグビーフットボール		全種別	おほし 小浜市	小浜市総合運動場陸上競技場・多目的グラウンド	
山岳	リード	全種別	いけだちよう 池田町	池田町特設会場	
	ボルダリング				
カヌー	カヌースプリント	全種別	あわらし	北潟湖特設カヌーコース	
	カヌースラローム	全種別	おおのし 大野市	九頭竜川特設カヌー会場	
	カヌーワイルドウォーター				
アーチェリー		全種別	ふくいし 福井市	福井市スポーツ公園サッカー場(兼ラグビー場)	
空手道		全種別	つるがし 敦賀市	敦賀市総合運動公園体育館	
クレール射撃		全種別	かつやまし 勝山市	福井県立クレール射撃場	
なぎなた		全種別	さばえし 鯖江市	鯖江市総合体育館	
ボウリング		全種別	ふくいし 福井市	スポーツプラザWAVE40	
ゴルフ		成年男子	あわらし	芦原ゴルフクラブ	
		女子		越前カントリークラブ	
		少年男子		福井国際カントリークラブ	
トライアスロン		全種別	たかはまちよう 高浜町	高浜町特設トライアスロン会場	
37競技			11市8町	63会場	

2 公開競技

競技名		種別	会場地	競技会場	備考
綱引		—	かつやまし 勝山市	勝山市体育館「ジオアリーナ」	名称変更
ゲートボール		—	わかまちよう 若狭町	若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」	
パワーリフティング		—	おおのし 大野市	越前おおのまちなか交流センター	
グラウンド・ゴルフ		—	わかまちよう 若狭町	若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」	
				三方グラウンド	
4競技			2市1町	4会場	

3 特別競技

競技名		種別	会場地	競技会場	備考
高等学校野球	硬式	—	ふくいし 福井市	福井県営野球場	
	軟式	—		福井市スポーツ公園野球場「福井フェニックススタジアム」	
1競技			1市	2会場	

4 デモンストレーションスポーツ

競技名	会場地	競技会場	備考
少林寺拳法	福井市	福井県立武道館	
エスキーテニス		福井市南体育館	
スティックリング		福井県営体育館	
ウォーキング	敦賀市	敦賀市金ヶ崎緑地および市内コース	
	勝山市	はたや記念館「ゆめおーれ勝山」	
ドッジボール	敦賀市	敦賀市総合運動公園体育館	
スポーツチャンバラ	小浜市	小浜市民体育館	
真向法		働く婦人の家「咲楽館(さくらかん)」	
サイクリング	大野市	大野市特設サイクリングコース	
パラグライダー	勝山市	スキージャム勝山エリア	
一般体操	鯖江市	サンドーム福井	
ラージボール卓球		鯖江市総合体育館	
インディアカ		鯖江市スポーツ交流館	
スポーツ吹矢		ユーカーサばえ	
カヌーポロ	あわら市	北潟湖カヌーポロ競技会場	
3B体操		トリムパークかなづ体育館	
オリエンテーリング		トリムパークかなづ	
シルバースoftバレーボール	越前市	武生中央公園体育館	
武術太極拳		南越中学校体育館	
バウンドテニス	坂井市	三国体育館	
エアロビック		春江中学校体育館	
バトン		坂井中学校体育館	
ディスクゴルフ		坂井市海浜自然公園ディスクゴルフコース	
ドッチビー		三国体育館	
ミニバスケットボール	永平寺町	永平寺緑の村ふれあいセンターアリーナ 松岡中学校体育館	
ウッズスポーツ	池田町	高齢者等活動促進広場「わいわいどーむ」	
ソフトバレーボール	南越前町	南条小学校体育館	
		南条中学校体育館	
		南条勤労者体育センター	
		レインボーパーク南条	
マレットゴルフ		桜橋総合運動公園野球場	
6人制ホッケー	越前町	福井県立ホッケー場	
ペタンク		織田中央公園グラウンド	
ボート(ローイングエルゴメーター)	美浜町	美浜町総合体育館	
キッズトライアスロン	高浜町	若狭和田特設会場	
ビーチラグビー		若狭和田海水浴場	
ママさんバレー	おおい町	おおい町総合運動公園体育館	
ゲートボール	若狭町	若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」	
グラウンド・ゴルフ		若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」 三方グラウンド	
36競技	9市8町	39会場	

第76回国民体育大会（三重県）

愛称・スローガン及び規定書体について

【愛称・規定書体】

三重とこわか国体

愛称の趣旨：

「とこわか（常若）」とは、「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま。」を表現する言葉です。

県民、地域、そして来訪者の全てが活力に満ちた元気になるようにとの願いを込めています。

規定書体の意図：

とこわか（常若）の字体をカラーで強調し、競技をする人、みる人、支える人それぞれが、様々な特色のある三重の地で活躍してほしいというメッセージを込めています。

三重の爽やかな海と山の恵みなど豊かな自然を「青」と「緑」で、国体に向けた三重の人の元気な姿や情熱を「黄」と「赤」で表現しています。

【スローガン】

ときめいて人 かがやいて未来

スローガンの趣旨：

第76回国民体育大会がきっかけとなって全ての人が夢と感動、喜びと感動を味わい、大会後も将来にわたり人や地域が元気に輝き続けていくような未来を願っています。

【選定経緯】

募集方法：全国公募

募集期間：平成27年4月18日～5月29日

応募総数：愛称 14,771件 スローガン 14,030件

選定方法：平成27年7月27日に開催した第76回国民体育大会三重県準備委員会第6回常任委員会にて審査し、決定

第76回国民体育大会（三重県）

マスコットキャラクターについて

【デザイン・愛称】



デザイン選定理由：

「県のさかな」に指定され、三重県を代表するトップブランドのひとつでもある伊勢えびをモチーフにした元気で活動的な男の子です。

伊勢えびは、縁起物として使われ、一般には健康長寿の象徴として、また、飛び跳ねる姿が力強さや若さ、生命力を感じさせることから、大会愛称の「とこわか（常若）」の意味する若々しさと調和しています。

さらに、デザインもこども顔に可愛さや親しみやすさがあり、額に三重のMの文字、豊かな自然の緑をあしらった姿は、三重らしさと躍動感に溢れ、三重の国体のマスコットキャラクターにふさわしいことから選定しました。

愛称選定理由：

「とこまる」の「とこ」は、大会愛称である「とこわか」や、「とことこ」と元気に走り回る子どものイメージにつながります。

また、「まる」には国体の成功（○になる）や、選手だけでなく国体に携わっていただくすべての方の「和」という願いが込められています。

さらに、「とこ」の響きがかわいらしく、「まる」に躍動感が感じられ、誰からも親しみやすく呼びやすいことから愛称として選定しました。

【デザイン選定経緯】

募集方法：全国公募

募集期間：平成 27 年 9 月 6 日～10 月 30 日

応募総数：1,436 件

選定方法：平成 28 年 1 月 25 日に開催された第 76 回国民体育大会三重県準備委員会第 7 回常任委員会にて審査し、決定

【愛称選定経緯】

募集方法：全国公募

募集期間：平成 28 年 3 月 1 日～4 月 30 日

応募総数：13,514 件

選定方法：平成 28 年 8 月 2 日に開催された第 76 回国民体育大会三重県準備委員会第 8 回常任委員会にて審査し決定

平成 27・28 年度 国民体育大会委員会 委員名簿

2016. 8. 25 現在

No	役職名	氏 名	本会役職等	所属団体等	検討小委員会
1	委員長	原 博実	理事	日本サッカー協会	○
2	副委員長	荒川 昇	評議員	千葉県体育協会	○
3	副委員長	林 辰男	理事	全日本スキー連盟	○
4	委員	飯坂 尚登	学識経験者	秋田県・秋田県体育協会	○
5	委員	石川 恵一朗	理事	静岡県体育協会	
6	委員	稲垣 公雄	学識経験者	三菱総合研究所	
7	委員	川原 貴	学識経験者	国立スポーツ科学センター	○
8	委員	菊 幸一	学識経験者	筑波大学	○
9	委員	坂井 利郎	評議員	日本テニス協会	○
10	委員	三戸 一嘉	評議員	埼玉県体育協会	○
11	委員	柴田 益孝	評議員	岐阜県体育協会	○
12	委員	菅原 哲朗	学識経験者	弁護士	○
13	委員	鈴木 浩二	学識経験者	日本水泳連盟	○
14	委員	友永 義治	評議員	日本陸上競技連盟	○
15	委員	萩原 美樹子	学識経験者	早稲田大学	
16	委員	松丸 喜一郎	学識経験者	日本オリンピック委員会 日本ライフル射撃協会	
17	委員	山口 香	学識経験者	筑波大学	○
18	委員	山本 浩	学識経験者	法政大学	○
19	委員	ヨコ セッターランド	理事	スポーツコメンテーター	○
20	委員	高田 勉	学識経験者	全国都道府県体育・スポーツ・保健・ 給食主幹課長協議会 群馬県教育委員会健康体育課	
21	委員	岩間 隆	開催県	岩手県国体・障がい者スポーツ大会局	
22	委員	高橋 光彦	開催県	岩手県体育協会	
23	委員	秋和 政一	開催県	長野県教育委員会事務局スポーツ課	
24	委員	土居 忠博	開催県	愛媛県えひめ国体推進局	
25	委員	藤原 恵	開催県	愛媛県体育協会	
26	委員	三井 勉	開催県	山梨県教育庁国体推進室	
27	委員	野上 文敏	開催県	新潟県教育庁保健体育課スキー国体室	
28	委員	国久 敏弘	開催県	福井県国体推進局	
29	委員	丹羽 治夫	開催県	福井県体育協会	
30	委員	中根 一明	開催県	茨城県国体・障害者スポーツ大会局	
31	委員	市村 仁	開催県	茨城県体育協会	
32	オブザーバー	関 伸夫		スポーツ庁競技スポーツ課	○